

北海道新聞

2013年
3月11日 日

発行所：北海道新聞社
札幌市中央区大通西3丁目6
〒060-8711 電話：011-221-2111
www.hokkaido-np.co.jp

読者センター
011-210-5888
ご購入申し込み
0120-464-104
ヨムヨムドーン

47 CLUB 全国の地方
新聞社厳選
お取り寄せサイト
よんななクラブ 検索

人がつくる。
人でつくる。

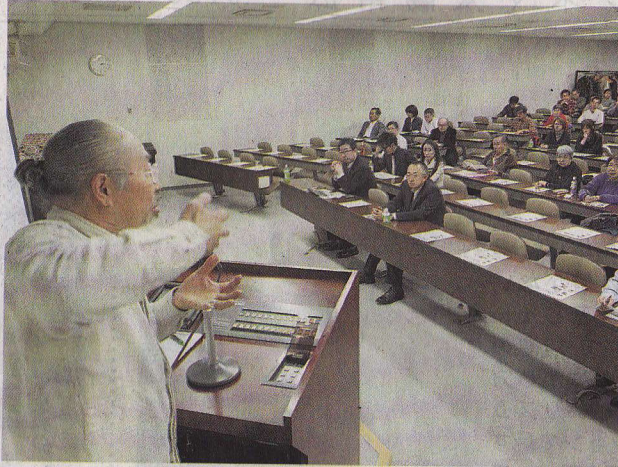


戸田建設
www.toda.co.jp

被災地なお支援必要

帯広 震災2年 シンポで訴え

東日本大震災から2年の節目に合わせ、被災地支援の現状について考える「東日本大震災を忘れないシンポジウム」(同実行委主催)



震災から2年がたつ被災地の現状を報告する山口幸雄代表

が10日、帯広市のとちがちプラザで開かれた。震災直後から支援を続ける民間ボランティア代表は「今も支援は必要な状況だ」と訴えた。

十勝管内のボランティア団体のメンバーら約70人が参加。災害救援ネットワーク北海道(清水町)の山口幸雄代表、NPO法人コミ

ユニティ・シンクタンクあつるず(帯広市)の菊池貞雄理事がそれぞれ講演した。

山口代表は、震災発生直後から現地入りして炊き出しや物資配布を行い、現在も月1回のペースで被災地を訪れている。被災地の現状について、「2年がたった今も、復旧は進んでいない。仮設ではない住まい、仕事に不足している」とし、住宅の供給や雇用確保など、国の対策が遅れていることを批判した。

また、清水町内で購入した土地を活用し、十勝への移住を希望する被災者に生活の場を提供する計画があるとし、「被災地のために、もう一歩踏み出して考える必要がある」と述べた。(中沢弘一)